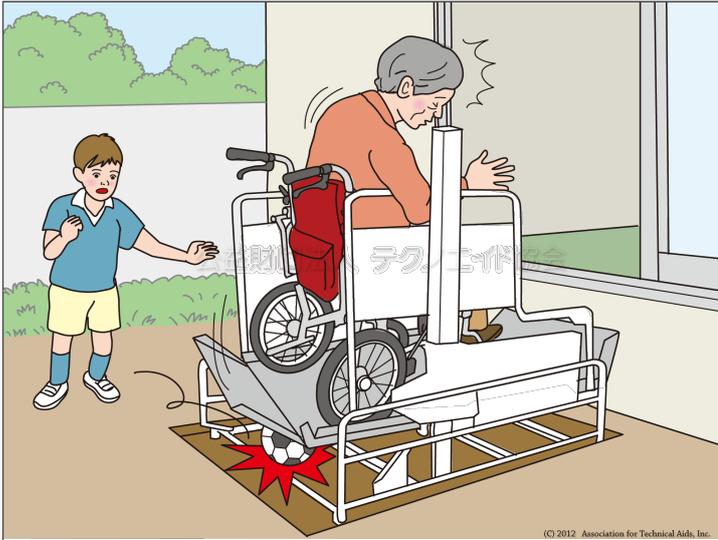


Case : 291

ボールが挟まれていることに気づかず、テーブル面が傾いて転落しそうになる

場面の説明

段差解消機を使用中、近くで子どもが遊んでいたボールがテーブル下に入っていたことに気づかず下降したためボールを挟んでしまい、テーブル面が傾いて転落しそうになった



利用シーン	 リモコン操作  階段の昇り降り
主な利用場所	 階段  玄関  段差・縁石
介護保険の種目	 移動用リフト（つり具の部分を除く。）
分類コード (CCTA95)	183006 (段差解消機)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

介護保険でレンタルされる機種は、基本的には床面に固定されていないので、テーブル下に障害物があるとそれに乗せ、バランスを崩す恐れがあります。子どもやペットのいる家庭では、テーブル下に異物が入り込む危険性も高くなると思われるので、蛇腹でテーブル下を覆っている機種など、安全性の高い機種を選定することをお勧めします。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：死角になっている箇所に注意がなかった
- 人：危険な場所であることを子どもに伝えていなかった
- モノ：安全装置がない段差解消機だった